

# 令和3年度 指定管理業務 実績評価シート

部課名 市民生活部市民協働課

施設名	裾野地区体育文化交流センター
施設の設置目的	世代間の交流事業や高齢者に対する生きがいくりの事業を行い、その保健福祉の向上を図るため。
所在地	弘前市大字十面沢字轡8番地9
指定管理者名	裾野地区町会連合会
指定期間	平成31年4月1日から令和6年3月31日まで
1 事業計画の実施状況	<p>施設の設置目的を理解し、協定書、管理業務基準書及び事業計画書に基づいて、概ね適正な管理運営が実施されている。</p>
2 自主事業の実施状況	<p>令和2年度は新型コロナウイルス感染症防止の観点から自主事業の実施を見送ったが、令和3年度は感染症対策を徹底したうえで1件実施した。</p>
3 市民サービス向上のための取組状況	<p>定期的に職員で体育室のグランド整備・壁の応急処置などを行い、維持管理に務めた。 また、新型コロナウイルス感染症対策として、施設入口に非接触型検温器を、消毒液を導入、利用後の点検時に人の触れそうな箇所は都度綺麗に拭き、次に利用する方が安心と安全かつ不快な思いをしないよう清潔さを維持した。</p>
4 市民ニーズの把握の実施状況	<p>例年冬期間にアンケート調査を実施しているが、1月から3月までの臨時休館により、アンケート調査を実施することができなかった。</p>
5 施設の利用状況（利用者数、稼働率など）	<p>令和3年度の利用許可件数は364件、利用者数は6,163人となっており、前年度と比較すると、件数、利用者数ともに減少した。（参考：令和2年度 利用許可件数523件、利用者数6,163人）</p>
6 指定管理業務の収支状況	<p>施設の管理に支障がないよう経費削減に努めながら、計画的な予算執行に努めている。</p>

## 7 実地調査の結果

施設内外の維持管理、各種書類の作成・保管の整理、経理の状況等適正に実施されていた。

## 8 成果指標の達成度

利用件数・・・目標件数459件に対し、利用件数が364件のため、達成度は79.3%  
利用者数・・・目標利用者数8,918人に対し、利用者数が6,163人のため、達成度は69.1%

## 9 評価

### (1) 指定管理者の自己評価

評価区分	評価	評価の説明	今後の課題と対応
施設の運営	B	円滑な運営に努め、出来るだけ窓口においては利用者の声を聞くようにし、寄り添えるようにした。しかし、アンケート用紙の記入を促すことが出来なかった。	ニーズの把握をし、要望を反映する。今後は受付の際等、積極的に通年声掛けをして利用者にご協力頂く。
施設の管理	A	維持管理に留意し、災害・緊急時に備え、利用者の安全対策を考慮した。	安心して利用できる環境を維持し、提供する。
経理の状況	A	帳簿等の整頓・保管をし、正確な収支状況を把握して経費削減に努めた。	収支状況を定期的に見直しながら、経費削減に取り組む。
団体の財務状況	B	予算執行状況を点検し、施設運営に支障がないか議論し検討した。	更なる業務改善、効率的な経費管理に勤しむ。

### (2) 市の指定管理者に対する評価

評価区分	評価	評価の説明	今後の課題と対応
施設の運営	B	利用者の意見、要望の把握に努めている。新型コロナウイルス感染症対策のため、検温、手指消毒用アルコールの設置、利用団体代表者に対する利用者の連絡先の把握を呼びかけるなど、適切な対応を実施するとともに、自主事業を実施した。	引き続き新型コロナウイルス感染症対策を実施したうえで、魅力的な自主事業の実施、アンケート調査を実施していただく。
施設の管理	A	利用者が利用しやすいよう、施設的环境美化や維持管理に努めている。とりわけ、体育室の状態を良好に保つため、頻繁に整備を実施している。	今後も、適正な管理に努めていただく。
経理の状況	B	経費削減に努めながら、計画的な予算執行に努めている。	今後も、適正な経理に努めていただく。
団体の財務状況	B	安定した経理的基盤を有している。	今後も、安定した財務状況を維持していただく。

### 【評価の視点】

評価区分	評価の視点
施設の運営	法令等の遵守、使用許可、市の指定事業、付随業務、自主事業、公平性、職員配置・研修、開館時間・休館日、職員の接遇、利用者ニーズの把握・反映、事業計画の実施状況、業務報告など
施設の管理	利用者の安全対策、施設・設備の維持管理、個人情報の管理、文書等の管理、備品等の管理、緊急時対策、災害対策など
経理の状況	帳票等の整備、経理の区分、収支状況、経費の削減、帳簿等の保管状況など
団体の財務状況	安定的な施設の管理が可能な経理的基盤を有しているか

### 【評価の基準】

A	協定書・基準書等の内容を超える管理運営が行われたと判断できるもの (適正な管理運営に加えて、更なる取組みや成果があると評価できるもの)
B	協定書・基準書等の内容を概ね適正に実施していると判断できるもの (軽微な改善点はあったが、速やかに改善されているもの)
C	協定書等の内容に対して改善点はあったが、適切な改善策が講じられているもの
D	協定書等の内容に対して不履行があるものや、改善がなされていないものがあるもの

### ※「団体の財務状況」の評価基準

B	問題がない
C	今後に注意を要する
D	早急な改善を要する